

越冬試験の考え方

実証試験準備および実証試験の開始

1. 実証機関（県）、山小屋、メーカー等との打合せおよび現状把握
2. 処理性能確認のための調査および閉山時の対応調査

対象とする実証試験施設の性能確認のための単位装置および試験項目

1. 水質調査（各単位装置流出水の性状を調査する 3 検体）
 - 便槽出口流出水
 - 接触消化槽流出水
 - 地下貯水槽（循環水）
2. 汚泥調査（汚泥の蓄積状況として各部位のスカム、堆積汚泥厚を測定する）
 - 便槽（男子便槽、女子便槽）
 - 接触消化槽（各室）
 - 土壌処理槽流出部
 - 地下貯水槽

本装置の生物処理機能を確認するため、処理装置に水温センサーを最低 3 ヲ所に設置し、継続的にデータを取得する。